



記事をよく読んで、問①～⑤に答えましょう。問⑤は自分で考えてみましょう。

〔問①〕 今年の大分国際車いすマラソンには海外から何か国の約何人の選手とスタッフが参加しますか。

答え 国の数 (18)カ国 , 人数 (約 80)人

〔問②〕 通訳ボランティアグループ「Can-do (キャン・ドウ)」は選手からどんなところが高く評価されていますか。

答え 【 アットホームな雰囲気 】

〔問③〕 1600人の大会ボランティアがカバーする分野は多岐 (たき) にわたるとあります。記事の中で紹介されているものを全部書き出しましょう。

答え 【 解答例：会場設営、選手や関係者の誘導、レーサー (競技用車いす) の運搬 】

〔問④〕 27年前から交通指導員をしている首藤安雄さんが選手の走りを目の当たりにするたびに思うことを記事の中から書き出しましょう。

答え 【 障害があってもなくても人は輝ける。大会は地元の誇り 】

〔問⑤〕 障害者スポーツには車いすマラソンのほかにどのようなものがありますか。調べてみましょう。

※調べ学習